

「2025年版惣菜白書」6月1日発刊に先駆けてダイジェスト版公開 2024年惣菜市場規模は前年比2.8%増 11兆2,882億円

一般社団法人日本惣菜協会（会長：平井浩一郎）は、中食・惣菜業界の国内市場をまとめた「2025年版惣菜白書」を6月1日に発刊するにあたり、2024年惣菜市場規模ダイジェスト版を先駆けて公開した。

<https://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/publishing-2/>

2024年の惣菜市場規模は、前年対比102.8%の11兆2,882億円となり、今回、過去最高となる11兆円を突破した（4月28日に速報として発表）。コロナ禍からの本格回復、社会構造の変化による惣菜・中食ニーズの高まりを反映したとみられるものの、実質的な販売数量の伸びというよりも、価格上昇・消費者物価指数の上昇に伴う“名目拡大”であるという見方もある。

【業態別市場】

業 態	2019年		2021年		2022年		2023年		2024年				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	構成比	金額		前年比	
										2019年	2019年	2019年	2019年
惣菜専門店	2兆8,962億円	28.1	2兆7,472億円	27.2	2兆8,334億円	27.1	2兆9,426億円	26.8	3兆727億円	27.2	-0.9	106.1	104.4
百貨店	3,560億円	3.4	3,117億円	3.1	3,356億円	3.2	3,431億円	3.1	3,400億円	3.0	-0.4	95.5	99.1
総合スーパー	9,639億円	9.3	9,075億円	9.0	9,345億円	8.9	9,754億円	8.9	9,663億円	8.6	-0.7	100.2	99.1
食料品スーパー	2兆7,407億円	26.6	2兆9,470億円	29.1	3兆816億円	29.4	3兆2,586億円	29.7	3兆3,855億円	30.0	3.4	123.5	103.9
C V S	3兆3,633億円	32.6	3兆2,015億円	31.7	3兆2,801億円	31.3	3兆4,631億円	31.5	3兆5,236億円	31.2	-1.4	104.8	101.7
合 計	10兆3,200億円	100.0	10兆1,149億円	100.0	10兆4,652億円	100.0	10兆9,827億円	100.0	11兆2,882億円	100.0	-	109.4	102.8

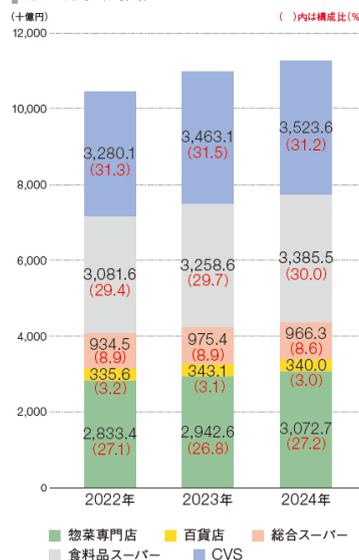
※P=ポイント

業態別の前年比で最も高いのは惣菜専門店（104.4%）で、次いで食料品スーパー（103.9%）、CVS（101.7%）、百貨店（99.1%）、総合スーパー（99.1%）の順である。

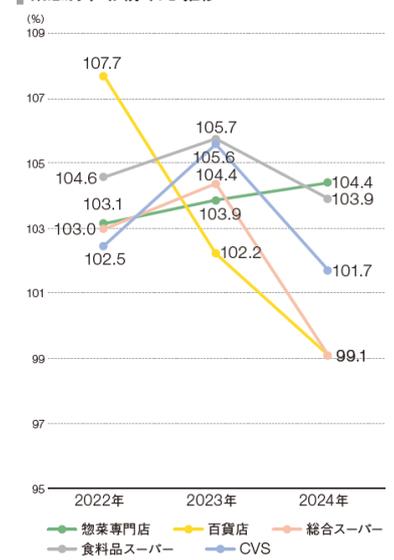
市場規模はCVSが最も大きく3兆5,236億円で、次に食料品スーパー3兆3,855億円、惣菜専門店3兆727億円と続く。

業態別構成比で増加したのは、惣菜専門店（0.4ポイント増の27.2%）、食料品スーパー（0.3ポイント増の30.0%）で、減少したのは総合スーパーおよびCVS（共に0.3ポイント減で総合スーパー8.6%、CVS31.2%）、百貨店（0.1ポイント減の3.0%）。

業態別市場 推移



業態別市場 前年比 推移



【カテゴリー別市場】

(%)

業 態	2021年		2022年		2023年		2024年		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年比
米飯類	4兆4,429億円	43.9	4兆7,699億円	45.6	4兆8,161億円	43.9	4兆9,479億円	43.8	102.7
調理パン	4,629億円	4.6	4,994億円	4.8	5,446億円	5.0	5,943億円	5.3	109.1
調理麺	7,975億円	7.9	8,858億円	8.5	1兆81億円	9.2	1兆863億円	9.6	107.8
一般惣菜	3兆5,284億円	34.9	3兆5,846億円	34.3	3兆8,299億円	34.9	3兆8,941億円	34.5	101.7
袋物惣菜	8,832億円	8.7	7,256億円	6.9	7,841億円	7.1	7,656億円	6.8	97.6
合 計	10兆1,149億円	100.0	10兆4,653億円	100.0	10兆9,827億円	100.0	11兆2,882億円	100.0	102.8

【カテゴリー別：業態別市場 推移】

(十億円)

	22年			23年			24年			22年			23年			24年		
	米飯類	調理パン	調理麺	一般惣菜	袋物惣菜	米飯類	調理パン	調理麺	一般惣菜	袋物惣菜	米飯類	調理パン	調理麺	一般惣菜	袋物惣菜			
■CVS	1,191.5	1,185.2	1,179.3	269.9	298.4	293.2	543.3	627.2	672.2	820.7	869.6	877.6	454.6	482.7	501.2			
■食料品スーパー	1,275.8	1,326.3	1,388.2	177.7	179.7	228.2	151.0	174.3	187.5	1,308.5	1,395.9	1,425.9	168.6	182.5	155.7			
■総合スーパー	373.1	402.1	399.9	23.3	33.4	36.8	37.0	40.8	43.9	422.8	410.3	404.7	78.4	88.9	81.1			
■百貨店	131.6	133.9	131.3	14.8	19.3	19.8	11.0	13.7	17.0	159.2	153.3	149.5	19.0	22.9	22.6			
■惣菜専門店	1,797.9	1,768.7	1,849.2	13.6	13.8	16.3	143.5	152.1	165.7	873.5	1,000.8	1,036.4	4.9	7.2	5.1			

カテゴリー別市場では、前年比トップは調理パンの109.1%。次いで調理麺107.8%、米飯類102.7%、一般惣菜101.7%と続き、袋物惣菜だけが97.6%と前年割れとなった。

カテゴリー別市場を業態別に見ると、米飯類は惣菜専門店、食料品スーパー、CVSの3業態で約9割(89.3%)を占める。一般惣菜は食料品スーパーが最も多く、次いで惣菜専門店、CVSが続く。調理麺はCVSが他を引き離して最も多い。調理パンは最大のCVSが前年を下回る中、食料品スーパーが市場の伸びをけん引している。袋物惣菜はCVSのみが前年を上回った。

【「2025年版 惣菜白書」について】

「惣菜白書」は、惣菜の市場動向・消費者動向・参考資料の構成からなる惣菜に関する業界唯一の統計資料として毎年発刊し、本年で21年目となる。

2025年版では、惣菜専門店をはじめ百貨店やスーパー・CVSなど100社(68,486店)の小売店における販売動向の調査を実施した。また、消費者調査は2025年2月7日～2月12日の期間、首都圏2,067人、近畿圏2,062人、東北圏1,053人、九州圏1,064人、男女合計6,246人を対象に、Web調査を行った。

新たな試みとして、2025年版より巻末の二次元コードを読み取ることで、タブレット端末等から電子書籍版を閲覧することができるようになった。



【掲載内容】

第1章 惣菜市场動向

【価格(消費税別・送料無料)】

◆日本惣菜協会の会員・賛助会員・協力会員

第2章 消費者動向

惣菜管理士・学校関係者・協会教育事業受講者

本体価格 3,000 円 (税込 3,300 円)

参考資料

◆一般企業・個人

本体価格 6,000 円 (税込 6,600 円)

<一部内容のご紹介>

2024年の惣菜市場は、前年比2.8%増の11兆2,882億円と過去最高を更新した。この数字はコロナ禍からの本格回復、社会構造の変化による惣菜・中食ニーズの高まりを反映したものとみられるものの、実質的には慎重な読み解きが必要だ。

2024年の消費者物価指数（CPI）は総合で2.7%上昇、コアCPIも2.5%上昇とされており、惣菜市場の2.8%増という成長率は、実質的な販売数量の伸びというよりも、価格上昇に伴う“名目拡大”であった可能性が高い。とりわけ注目すべきは、米価の高騰だ。肥料・資材・輸送費の上昇に加え、作付面積の縮小など複合的な要因により、業務用米の価格は一時2倍近くにまで上昇。惣菜の主力である弁当・おにぎりへの影響は避けられず、業界各社が値上げ対応に追われた。たとえばスーパーマーケットのオーケーは、長年維持してきた“税抜299円弁当”を339円に改定した。

こうした状況下で、消費者の体感はどうか。2025年の消費者調査では、「惣菜が高くなった」と感じている人が76.0%に上る。これは前年より40ポイント以上の大幅増であり、消費者の価格感受性が急激に高まったことを示す。家計調査でもエンゲル係数は28.3%と43年ぶりの高水準に達し、食費の比重が重くなっている。これにより惣菜の「値上がり」に対する受容性にも限界が見え始めていることをうかがわせる。

それでも惣菜が選ばれ続けるのは、“便利さ・タイパ（タイムパフォーマンス）”という構造的な背景がある。調理不要、すぐ食べられる、片づけが簡単、メニューを考えなくてよい——こうした利便性は、共働き世帯や単身者、高齢世帯などの生活者にとって、もはや日常の基盤となっている。惣菜は“高くても買う”のではなく、“手間に見合うから買う”商品へと変化している。

「2025年版惣菜白書」巻頭言より抜粋

※惣菜白書およびダイジェスト版から、グラフ等のデータを使用される場合は、出典の記載をお願いしております。協会HP (<https://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/publishing-2/>) をご確認ください、「引用申請」をお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本惣菜協会 担当：白壁・高橋までお願い致します。

TEL:03-6272-8515 FAX:03-6272-8518 E-mail: souzai-info@nsouzai-kyoukai.or.jp